

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁 叙階された鶴山進栄新司祭に聞く

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



「金鍔」神父が隠れていた洞窟(長崎市戸町)

**伝説の宣教師
トマス次兵衛「金鍔」神父**

アウグスチノ会の修道司祭となつたトマス金鍔次兵衛は、主から託された羊を守り抜くためには、どのようなことでもする牧者の姿を表現しています。

その務めのほかは、一切、眼中に入れず、神と人に獻げつくす生き方を貫きとおす雄々しさです。しかもそれは、浮き立つようなきらびやかさや英雄の姿とは、およそ縁遠い、ひたむきで一途な生き方でした。

次兵衛は、訪ねて来る信者や求道者を教会の自室で座して待つ司祭ではありません。迫害の時代、みだりに歩き回れば、それだけ危険が多く付きまといますが、次兵衛は奇抜な方法を駆使し、さまざまな姿に身を変えて役人や密告者の目を逃れ、いろいろな地域の信徒を訪れては秘跡を授け激励し続けました。

(手引き「殉教者を想い、ともに祈る週間」より引用)

6
2008

188殉教者紹介

15

伝説の宣教師トマス次兵衛「金鍔」神父

神話の人物のようにその名前はいろいろな場所と結びつき、いわば神出鬼没である。彼について信じ難いほど奇妙な噂が流されていたが、実際にその生涯は短く、活動の場は基本的に長崎地方であった。トマス次兵衛は、1600年ごろ大村に生まれ、信者であった両親レオとクララは、後に殉教したと伝えられる。幼くして自発的に有馬のセミナリヨに入り、卒業後イエズス会の同宿になつたが、1614年、宣教師とともにマカオに追放された。1620年、日本に戻り、その後マニラに渡つてアウグスティノ会に入会した。1628年、セブ島で司祭に叙階されてフィリピンで活動を始めたが、迫害に苦しむ日本の教会に戻る望みをかなえようと、いろいろな方法を探つた。1631年、侍に変装して帰国に成功した。長崎奉行所の馬の口取りになり、クルス町の牢に囚われた宣教師や信者を訪れるなど、至る所に出没して使徒職を果たした。隠密によつて

て彼の人相書きが作られるに及んで、次兵衛は外海の山中に逃れた。そこは江戸時代に「次兵衛谷」として知られるようになり、現在、彼が隠れ住んだ洞穴は巡礼地となつてている。

大村家の記録には、西彼杵半島の横瀬浦と面高から長与に至るまで行われた「金鍔狩り」の様子が詳しく述べられている。その後、戸町の裏山の洞穴に身を移し、「金鍔谷」として知られるその場所から長崎の中心部に潜入した。マカオに残る記録によれば、1634年、トマス神父は、長崎に住まう、あるポルトガル人の家でミサを行ない、ポルトガル人たちに秘跡を授けたという。

トマスは帰国以来、幾度も難を逃れたが、1636年11月1日、ついに片淵で捕らえられ、クルス町の牢に押し込められた。奉行は、神父を援助したポルトガル人の名前を自白させるため、また探索に長い時間を費やした恨みを晴らすため、さまざま怒ろしい拷

問を試みたが、すべては徒労に終わった。恩人を一人も裏切ることなく、トマスはすべての苦しみに耐えぬいた。1637年8月21日に穴吊りにされたが、23日になつて、入港したポルトガル船の乗組員に関する取り調べのため牢に戻された。この時にも誰の名前も言わなかつたので、11月6日、数人の信者とともに、西坂で再び穴吊

りにされた。すでに衰弱しきつていたトマスは、その日のうちに壮絶な殉教を遂げた。37歳であった。の信者とともに、西坂で再び穴吊りにされた。すでに衰弱しきつていたトマスは、その日のうちに壮絶な殉教を遂げた。37歳であった。員とともに、新しい福音宣教を目指すことを目的として開催します。

188殉教者列福によせて
書画展示会 作品募集

「京都の大殉教」についての歴史を学び、彼らの生き方に想いを馳せながら、殉教者を顕彰するとともに、新しい福音宣教を目指すことを目的として開催します。

作品の内容
絵画 油彩、水彩、水墨、その他
クレパス、クレヨンなど

書道 詩、標語など、小学生は作文形式でボールペンでも可

キリストン関係行事

6月

○28日(土)

京都の大殉教巡礼会

場所 河原町教会集合

主催 京都司教区

7月

○26日(土)

京都の大殉教巡礼会

内容は6月と同じ

○27日(日)

七人塚殉教地巡礼

場所 七人塚(岡山県美作市)

主催 津山教会

主催 京都司教区事務局
教列福記念事業特別委員会
員会

実施要項の詳細については左記までお問い合わせください。

列福記念事業特別委員会事務局
電話075(211)3468
FAX075(211)4345
主催 京都司教区(京都の大殉教
記念事業特別委員会)

叙階された新司祭に聞く

鶴山進栄新司祭

京都教区に6年ぶりに新しい司祭が誕生しました。鶴山進栄神父です。3月29日(土)参列者がいっぱいであふれた河原町司教座

聖堂で、大塚喜直司教により叙階式が執り行われました。編集部から三つの質問に対して鶴山神父から、メッセージを寄せていただきました。

司祭になろうと思った動機

2000年に数名の方から「司祭になりませんか」と言われたことが直接のきっかけです。確かにそれまでにもこのようなことを言われたことはあったわけですが、その時も素晴らしい生き方だなとは思いながらも私に務まるわけがない、もっとしかるべき人がなればいいと思いました。しかしこの2000年の方に言われた

ということもあって神様からの呼びかけということを意識したわけです。そしておそるおそる京都教区のある司祭に相談しました。

司祭になるまでの苦労話

神学院では学ばなければならぬことがたくさんあります。もともと勉強が不得意な上に30歳になつて勉強を始めたので、とにかく大変でした。そして一生懸命

司祭としてどんな事をしたいのか

司祭というと私がイメージすることは神学生になる前も司祭に叙階されてからも「ミサを司式する役務者」ということです。神学生になる前、仕事をしていた頃、日曜日にミサに参加するのが楽しみ



勉強しているのにどうして…と自分を責めたり周りを羨んだりしたことがありました。でも、これは余計なことだったんですね。人間には与えられた能力というものがあって私に与えられた分を力の限り果たしたら十分神様は喜んでくださるのに、それを見つめることができなかっただんですね。

1週間の力を得ていたわけです。欠点だらけの私がミサを司式するというのは本当に恐れ多いことだと思います。でも神様が、イエス様がいいようにしてくださる道筋になりたいと思います。他にブロックでは日々の講座、また教区での役割があります。それを誠実に果たしていきたいと思います。叙階を迎えるまで私のために多くの方が祈ってくださり、また関わってくださいました。感謝申し上げます。今後ともお祈りとご指導ご鞭撻の程、お願ひ致します。



福音センターニュース

京都カトリック福音センター

第31回

結婚講座

～新しい出発のために～

教会での結婚の意味を学びながら、和やかな雰囲気の中で、対話をとおして
お二人の関わりを深め、より豊かな結婚生活を目指して心の準備をしていきます。

日 時	テマ
① 7月12日(土) 10:30~15:00	対話 -愛を育てる新婚時代-
	愛の契約と夫婦の絆 -キリスト教の結婚観-
② 7月26日(土) 10:30~15:00	対話 -家庭経済-
	妊娠と出産 ～産婦人科医の立場から伝えたいこと～
③ 8月2日(土) 10:30~15:00	結婚生活の体験の分かち合い
	対話 -二人で歩む道の価値観-

- 対象 教会で結婚式をなさる方
- 場所 京都市中京区河原町通三条上ル カトリック会館 8F
- 費用 一人 10,000円（昼食代込み）
- 申込期限 7月4日（金） *事前に所属教会司祭、又は挙式司祭の承諾を得て、お申し込みください。

* カップル対象で内容が組まれていますので、お二人揃って全回出席されることを原則とします。

◆ 申込み・問い合わせ先 ◆

京都カトリック福音センター 〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上ル
TEL 075-229-6800 FAX 075-256-0090 fukuin@kyoto.catholic.jp

[郵便振替番号 00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース]

こんなにちは福音センターです！

去る2月末、福音センターは高野教会と松阪教会にうかがい、祈りをテーマとして、信徒のみなさんと分かち合い、共に祈るひとときをもちました。そのときの感想文を、今回は松阪教会の方々にお願いしました。

黙想会に参加して

徳永幾代

今まで何度か黙想会に参加しましたが、今回のテーマは「祈りについて」でした。今まで自分が祈っていた祈りはただ言葉を並べていただけのもののように思います。ひたすら祈り求めても神様には届いていなかったかもしれません。何処でも祈りは出来ますが、心の奥深い所におられる神様に対して祈るにはそれなりの祈り方があることを教えていただきました。でもそれはなかなか難しいものです。日常の雑念が邪魔をします。本当は神様に救いを求めたいのに毎日の生活の中でいろいろな悩みや、心配事、体の不調、人間関係の難しさなどに囚われて思うようにいきません。また、楽な方へ楽な方へと流されたり、誘惑に負けたり…

実際その場で祈り方を教えていただき、また静かな音楽を流すことも祈りの導入に効果があることに気付きました。

私は神様に作られたものなのだ、どんなに着飾ろうとすべてお見通し。これからは裸の心で全てを神に信頼して、心の奥深い所におられる神様に祈れるよう努力していきたいと思います。この機会を与えられたことに感謝します。

祈りの黙想会

泉美紀夫

そこは深い深い海の底、水面の社会生活から飛び込み、深く潜りながら地位・名誉・お金・予定・時間・しがらみ・悩み・苦しみ、いやだったことむかついたこと等を脱ぎ捨て、やっとたどり着いた祈りの部屋のドアを開けます。ドアの向こうにはテーブルと1本のローソクがあります。

今日の出前講座はここから始まりました。日曜日教会についたときや、祈りましょうと先唱者が声を掛けたときなど一瞬この祈りのドアに向かって潜ろうとするのですがすぐ雑念が潜らせまいと抵抗します。しかし今日は違いました。苦しいのですが講師の皆さんのおかげで潜れました。心地よい祈りの中に包まれた感じでこの祈りの黙想を過ごすことができましたこと、感謝いたします。

アビラのテレサの言葉「祈りとは私たちを愛してくださっていると私たちが知っている神様と一対一でたびたび会話を交わして友情を生きることに他なりません。」

神様を愛するために聖霊をいただいているのだから神様と友情を生きることができる。神様は私たちを本当に愛してくださっていると感じることを祈りの対話につなげていきたいと感じました。

お知らせ

075(231)2017

地区協議会から

◆青年センターから

▼運営委員会(三重地区)21日(土)
▼聖書の集い28日(土)▼青年の
集い29日(日)河原町ヴィリオン
ホール

教区委員会から

◆聖書委員会▼よく分かる聖書の
学び25日(水)10時半河原町
会館6階ホール▼聖書講座シリーズ
4・5日渡辺幹夫師、18・19日
伊徳信子氏、河原町ヴィリオン
ホール▼聖書委員会への電話は
毎週水曜日と木曜日の10時~16時
の間にお願いします。電話075
(211)3484

諸施設・諸活動から

JOC▼働いている青年の集

い。最終金曜日19時半京都劔
く人の家(九条教会前)連絡先
090(8207)1831

カトリック聴覚障害者の会京都

グループ▼手話学習会12日(木)
13時河原町会館6階

京都司教区正義と平和京都協議

会▼学習会7日(土)18時半
河原町会館6階ホールティマ

「セクシュアル・ハラスメントに
気づくことから」講師竹之下

雅代(京都ウイメンズカウンセリ
ング)

修道会から

◆聖ドミニコ女子修道会▼ロザリ
オと共に祈る会20日(金)10時
半どなたでもどうぞ▼問合せ

◆京都カナの会▼例会、結婚相談
室1日(日)13時半河原町会館
6階

◆京都キリストン研究会▼定例会
22日(日)14時河原町会館6階
▼京都の大殉教巡礼会28日(土)
9時半河原町教会、元和キリ
シタン殉教の地碑、南蛮寺、26
聖人発祥の地碑などの巡礼、事
前申込要FAX075(822)

◆滋賀カトリック協議会▼合同堅
信式15日(日)草津教会▼例会29
日(日)草津教会

◆カトリック奈良地区協議会▼聖
書講座13・14日英隆一朗師、27・
28日大塚喜直司教奈良教会ただ
し27日は八木教会

◆コーエーレステ▼練習日毎月
第2、第4、第5木曜日河原町
会館6階

◆在世フランシスコ会京都兄弟会
14日(土)13時半

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ
会▼河原町協議会8日(日)河原
町教会

◆フランシスコの家▼聖劇「六条
河原炎の十字架」(京都の大殉
教テクラ橋本の物語)公演7月
21日(月)14時場所大谷ホー
ル(京都市下京区東本願寺北側)

◆二金会▼例会13日(金)11時
西陣教会

◆糠みその会▼例会26日(木)19
時半九条教会ホール

◆心のともしひ6月番組案内

▼テレビ(衛星・ケーブル放送)
スカイAスポーツプラス

毎週土曜日朝8時45分より

渡辺和子によるシリーズ「キリストのかおり」7日と14日「人生の

穴と向き合う」21日と28日「置
かれた所で咲く」(但し7日と28日は7時45分から
に時間変更)

▼ラジオ(KBS京都ラジオ)
*6月のテーマ「宝物」。

月~土朝5時15分より5分間。
累計52、212、832円

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
問合せ075(211)9341

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
月~土朝5時15分より5分間。
累計52、212、832円

◆「一万匹の蟻運動」基金報告
(4月15日現在)

京都教区時報のバックナン
バーすべてをホームページ
でご覧になります

創刊号の1962年(昭和37
年)6月号から1993年(平
成5年)12月号までのバックナ
ンバーを教区のホームページ
に掲載しました(それ以後は既
に掲載済みです)。トップペー
ジの「教区時報」から入ること
ができます。

PDFファイルのため読み
込むのに少し時間がかかりま
すから、ブロードバンドで見る

ことをお奨めします。

